新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里機関紙　　令和８年２月１日発行

つぴまる

シジュウカラ　第112号

シジュウカラ使用

スズメが作りかけて放棄？ハチの巣あり

スズメ使用、ハチの巣あり

スズメ使用

スズメ使用

スズメ使用

スズメ使用

スズメが作りかけてコムクドリが乗っ取り、
コムクドリの巣立ち後にスズメが営巣

シジュウカラ途中放棄
（卵が残っていました）

もくじ

１ページ　・巣箱の中身
２ページ　・インセクトホテル
　　・穴を開ける鳥、使う鳥
３ページ　・イベント案内（令和８年３月～６月）
　　・イベント報告（令和７年８月～11 月）
４ページ　・傷病鳥獣の収容状況（令和７年８月～11 月）
　　・愛鳥センター利用案内

ホームページもチェックしてね

愛鳥センターHP
QRコード

表紙の写真　巣箱の中身

愛鳥センターの周辺には巣箱をたくさん架けています。繁殖期が終わり、寒くなってハチなどの昆虫の活動も落ち着いたので、巣箱のメンテナンスを行いました。巣箱はおもにスズメとシジュウカラが使用しています。並べて見ると、枯草を詰め込むスズメとコケを敷くシジュウカラの巣の違いがよくわかります。鳥の繁殖後にはハチも利用していたようです。

インセクトホテル

写真①：インセクトホテル

令和５年の春に設置したインセクトホテル（写真①）。当時、某テレビ番組でその存在を知りました。虫たちの「お宿」で、越冬や産卵などに利用するようです。作り方は、適当な箱ものに、落木や枝木にドリルで穴を開けて詰め込むだけです。定期的に中身を確認しますが、今回その状況を報告します。

詰めていた枝を全て確認したところ、穴に泥状の物質が詰まっていた枝（写真②）が 16 本あり、その中の１本の中身を調べてみると「幼虫」（写真③）がいました。これは、巣作りに際して泥を利用するドロバチの仲間のものと思われます。この種は、比較的温厚な性格とのこと。

また、木枠側面、枝切り株上、枝側面に「巣」（写真④、⑤）が形成されたり、「卵鞘」（写真⑥）が産みつけられたりしていました。④、⑤は、トックリ型をしていることからトックリバチの仲間の巣と思われます。これもドロバチの仲間です。⑥は、カマキリ類の「卵鞘」と思われます。

センター周辺も自然豊かではありますが、多様な生態系を維持するには、当然「虫」も必要。インセクトホテルは、それらを呼び寄せることができます。

写真②：穴に泥状の物が詰まった枝

写真③：穴の中に入っていた幼虫

写真④：木枠側面に作られたハチの巣

写真⑤：切り株上に作られたハチの巣

写真⑥：カマキリ類の卵鞘

巣材を運んできたスズメ

穴を開ける鳥、使う鳥

壁に穴を開ける
アオゲラ

愛鳥センターの建物の外壁は板張りになっています。

毎年冬になると、キツツキ類（おもにアオゲラ）がやってきて、つついて穴を開けてしまいます。壁の内側にいる虫を捕るためなのか、ねぐらにするためなのか、それとも、ただつつきたいだけなのか。数年前に張り替えた外壁は既に穴だらけです。ちょっと困ってしまいますが、この穴を有効に利用する鳥がいます。スズメとコムクドリはキツツキが開けた穴に営巣し、ヒナが巣立っています。鳥の役に立つならまあいい・・か？

穴を開けられることを防ぐための有効な手段はなかなかありません。

巣穴から顔を出す
コムクドリのヒナ

令和８年３月～６月イベント案内

３月のイベントは申込み受付中です。
４月以降のイベントは 4/1 より申込み受付を開始します。
（申込み受付開始日の記載があるもの、申込み不要のものを除く）

探鳥会・観察会

〇愛鳥センターバードウォッチング③

ヤマガラ

日時：３月８日（日）９：00～10：30
場所：愛鳥センター　定員：20 名

〇初心者バードウォッチング① ②

日時：①4 月 19 日（日）９：00～10：30
②4 月 29 日（水・祝）９：00～10：30
集合：愛鳥センター2 階レクチャールーム　定員：各回 20 名

〇愛鳥センターバードウォッチング①

日時：５月９日（土）９：00～10：30
場所：愛鳥センター　定員：20 名

新潟県野鳥保護の集い

日程：６月６日（土）
場所：愛鳥センター階レクチャールーム　定員：50 名
内容は未定です。詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

申込み方法

申込先の記載があるもの以外は、愛鳥センターへ住所・氏名・電話番号・年齢を明記して、電話、はがき、E-mail にてお申し込みください。野鳥保護の集いはホームページ掲載後に電子申請からもお申込みいただけます。
※Fax は令和８年４月より廃止します。

講座・教室

〇昆虫標本作製教室　昆虫はかせネットワーク主催

コアオハナムグリの標本を作ります

日時：４月 12 日（日）10：00～12：00
場所：愛鳥センターレクチャールーム
対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）
定員：10 名　参加費：200 円
申込み：申込みフォームで昆虫はかせネットワークへ
（3/15 受付開始、URL はイベント情報に掲載します）

〇めざせ調査員！鳥の鳴き声勉強会（春）

日時：４月 26 日（日）９：00～11：00
場所：愛鳥センター　定員：10 名
対象：小学校高学年以上で鳥の野外調査に興味がある方。
持ち物：双眼鏡、筆記用具、バインダー（あれば）

〇羽のしおり作り教室　※申し込み不要

日時：５月３日（日）～５月５日（火）
各日とも 13：30～15：00　随時受付
場所：愛鳥センター2 階レクチャールーム

〇鳥の標本作製講習会　県立自然科学館共催

日時：５月 30 日（土）９：45～16：45
場所：県立自然科学館　科学室
定員：６名　対象：高校生以上
参加費：無料（自然科学館の入館料 580 円のみ必要です）
申込み：自然科学館 025-283-3331 へ（4/1 受付開始）
鳥の仮剥製を作ります。作った標本は持ち帰れません。愛鳥センターの資料として収蔵します。

特別展

２階ロビーにて開催します。開館時間中自由に見学できます。

★冬季特別展「知ってるようで知らない　身近な鳥のこと」　11 月１日（土）～２月 11 日（水）
★令和７年度野鳥写真展　２月 21 日（土）～５月６日（水・祝）
★令和８年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール新潟県大会入賞作品展＆春季特別展（冬季特別展を再展示）
５月 16 日（土）～７月５日（日）

令和７年８月～11 月イベント報告

イベント報告の詳細はホームページに掲載しています。

◆工作教室（消しゴムはんこ作り）

日時：８月２日（土）13：30～15：00
場所：愛鳥センターレクチャールーム　参加者：５名

◆巣箱作り教室

日時：①8 月 16 日（土）②8 月 17 日（日）13：30～16：00
場所：愛鳥センターレクチャールーム
参加者：①7 組 15 名　②7 組 13 名

◆シギ・チドリ観察会

日時：９月７日（日）７：00～９：00　天気：曇
場所：網代浜（聖籠町）参加者：12 名　確認鳥種：20 種

◆愛鳥センターバードウォッチング②

日時：９月 27 日（土）９：00～10：30　天気：晴れ
場所：愛鳥センター周辺　参加者：16 名　確認鳥種：17 種

◆清潟探鳥会

日時：10 月 19 日（日）９：00～11：15　天気：曇
場所：清潟公園（新発田市）　参加者：10 名　観察鳥種：36 種

◆めざせ調査員！鳥の鳴き声勉強会（秋）

日時：10 月 25 日（土）９：00～11：00　天気：晴れ
場所：愛鳥センター　参加者：７名

◆愛鳥講演会

クロツグミ

日時：11 月 22 日（土）13：30～15：30
場所：県立生涯学習推進センター　ホール
参加者：60 名
演題「希少鳥類の保全、私達にできること」
ートキ・ヤンバルクイナなどー
講師：（公財）山階鳥類研究所　副所長
尾崎 清明 氏

令和７年８月～11月の傷病鳥獣収容結果

収容NO.	種類	7月末収容数	収容数	放鳥獣	返還譲渡	死亡	11月末収容数	収容NO.	種類	7月末収容数	収容数	放鳥獣	返還譲渡	死亡	11月末収容数
（鳥類）								19	カワセミ		1			1	0
1	コハクチョウ	3	2			3	2		チョウゲンボウ	6		1			5
	ヤマドリ	1					1		ハヤブサ	1					1
2	キジ	1	1	1		1	0	20	サンコウチョウ		1			1	0
3	ホトトギス		1	1			0	21	オナガ	1	1	1		1	0
4	キジバト		1	1			0		ハシボソガラス	4					4
5	アオバト	2	1	1			2		ヒガラ	1		1			0
6	バン		1	1			0	22	シジュウカラ		1			1	0
7	ヤマシギ		1			1	0	23	ヒヨドリ	1	1	1		1	0
8	オオジシギ		1			1	0	24	ツバメ		6	2		4	0
9	ウミネコ	4	2			1	5	25	ウグイス		2	1		1	0
10	オオミズナギドリ		2	1		1	0	26	オオヨシキリ		1			1	0
11	ゴイサギ	1	1	1			1	27	シマセンニュウ		1	1			0
12	チュウサギ		1			1	0	28	クロツグミ		2			2	0
	クマタカ	1					1	29	スズメ		1			1	0
	トビ	10					10		ハクセキレイ	1		1			0
	サシバ	2					2		ホオジロ	2		2			0
13	ノスリ	2	1	1			2	30	アオジ		1			1	0
14	アオバズク	1	1	1		1	0	31	ドバト	1	4	3			2
15	コノハズク		1	1			0	小計		49	45	26	0	28	40
16	オオコノハズク	1	2	2		1	0	（獣類）							
17	トラフズク	1	1			2	0	1	キツネ		1			1	0
	フクロウ	1					1	小計		0	1	0	0	1	0
18	アカショウビン		1				1	合計		49	46	26	0	29	40

令和7年8月1日～11 月 30 日の収容数は、鳥類 31 種 45 羽、獣類1種1頭で、昨年度の同時期（鳥類 55 羽獣類0頭）と比べ鳥類は減少し、獣類は増加した。（11/5～11/30 の間、鳥インフルエンザ防疫対策のため収容不可）

＜特記事項＞ オオジシギ：令和7年9月 10 日、新潟市中央区県庁敷地内で、飛べずにいたところを保護された。骨折はなかったが衝突等による脳震盪、起立不可の状態で9月 13 日に死亡した。収容時の体重：154.6g

この個体は、平成 18 年に次いで4例目。

利用者数

鳥インフルエンザ対策のため令和 7 年 11 月 5 日～11 月 30 日は臨時休館

月	8 月	9 月	10 月	11 月	計	累計
来館者数	462	399	319	303	1,483	656,559
相談件数	46	26	24	36	132	－

館内設置のトキ募金箱の報告

令和７年８月～令和７年 12 月 12,030 円　累計 352,837 円

皆様の善意に深く感謝いたします。今後とも御協力をお願いします。

新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里

開館時間：午前９時～午後４時

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）

〒957-0231　新発田市藤塚浜海老池

Tel：0254-41-4500　Fax：0254-41-4501

HP：https://www.pref.niigata.lg.jp/site/aicho/

E-mail：aicho-center@pref.niigata.lg.jp

令和 8 年 4 月 1 日より、Fax を廃止します。